

総務常任委員会活動報告

総務常任委員長 原 信義

神崎市議会総務常任委員会は3月定例会後、8名全員出席のもと、2回の委員会を開催し行政の調査を行ないました。

4月18日の委員会は神埼地区消防事務組合消防本部へ出向き、牟田消防長はじめ8名の幹部のみなさんと、日常業務のこと、来年4月から新佐賀広域消防局に変わる準備状況などについて説明を受けて意見交換しました。

その後、消防資機材等の説明を受けると共に、若い消防職員の真剣な、厳しい訓練を視察し、激励のあいさつをおこないました。

その後、仁比山公園に試験的に設置してあるマイク口水力発電現地視察、吉野ヶ里メカソーラー工事を視察しました。

5月21日には千代田庁舎委員会室において、(1)九州農政局事業所開設に伴う千代田庁舎の改修、(2)巡回バスについて調査しました。

(1)については、佐賀平野のクリーク法面崩壊補修事業において、幹線の一部を国営事業として平成24年度から実施されるにあたり九州農政局の事業機能の一部が千代田庁舎へ移転することに伴い庁舎の一部を改修するものです。改修面積320㎡、改修費用400万円(概算)国営事業として総延長17.3km、総事業費46.8億円、事業期間12年間。最盛期は50名程度の職員が常駐します。

(2)については10月1日にダイヤ改正が行われるので見直し案について説明を受け、協議しました。

議会改革検討特別委員会活動報告

議会改革検討特別委員会委員長 永 沼 彰

議会改革検討特別委員会の閉会中並びに会期中の活動については、第1分科会及び第2分科会では、調査・研究した報告を受け、6月22日開催した特別委員会での結果を報告いたします。

「議会情報の積極公開」についてはホームページによる議会情報の公開や、議会議録の録画配信、議会だよりにより情報の公開を行っているが、市政報告会については委員会全体で検討し「議会基本条例」の中で審議する事になった。「本議会における質疑質問のあり方」については閉会中に審議し9月定例会から実施することと協議がされた。政務調査費については、神崎市議会の「政務調査の確認事項」を踏まえ政務調査費の手引き(案)を提案され、

次回に使用基準を検討することとなった。「議員定数の調査研究」については地方自治の実現・市政の監視や市民の声を多く届けるための議員定数のあり方、メリット、デメリットについて審議した内容を特別委員会において全体で審議することになった。「議員の各種審議会、委員会との関わり」については、各所管の常任委員で引き続き協議することとなり、議会基本条例や議員定数の問題については、特別委員会でも本格審議することが決定された。現在調査研究している項目についても引き続き調査を行ってまいります。



議会広報編集特別委員会行政視察研修

《市民に親しまれる『議会だより』を目指して！》

議会広報編集特別委員会は、5月22日、23日に大分県大分市議会及び由布市議会において議会だよりの編集について研修を行いました。大分市議会では、議会活動を市民に率直に伝える議会だよりが作成され、特にトップページに「クローズアップ議会 ここに注目 “議会の目”」と題し議会からのメッセージを掲載されしっかりと市民に伝える意味で、とても充実した内容になっていました。大分市議会だよりは、中核市議会議長会議会報コンクールにおいても高い評価を受けています。次に由布市議会を尋ね議会活動の



視察研修の様子（大分市議会）

情報発信について意見交換を行い、市議会は市民の意見聴取に積極的に取り組み情報発信も活発で、その結果議会だよりを読んでいる市民が非常に多いことが分かりました。「議会のうごき」と題して議会活動内容を掲載、請願・陳情の結果報告等も用語解説を付けて分かりやすく工夫された構成は、神崎市議会だよりの紙面に取り入れたいと思います。今回の研修成果を活かし、市民が楽しみに読んで頂けるような議会だよりを目指して編集活動に取り組んでいきます。

全国市議会議長会より平成24年5月23日 2名の議員が表彰を受賞されました。

〔15年以上〕



片江 護 議員

〔10年以上〕



古賀 安行 議員

市議会議員として、10年、15年市政の振興に努められた功績によるものです。（町議会議員としての功績も含まれます。）